

丁奚疳

是ナリ、又赤鼻ト名ケ、又疳鼻ト名ク、

〔病名彙解〕五丁奚疳 丁ハ伶仃ノ義ニテ、危弱ノ心ナリ、奚ハ腹ノ大ナルコトナリ、入門ニ云、丁ハ

手足ト項ト極テ小ニシ、伶仃ナリ、奚ハ腹大ナルナリ、甚シキモノハ尻高ク、肉削レ臍突デ、號哭シ

テ胸陷リ、或ハ穀癥ヲ生ジ、愛シテ生米ヲ喫スルナリ、文選、李陵贈蘇武詩ノ註ニ、伶仃ハ危弱ノ貌

トアリ、

〔隨意錄〕五小兒丁奚病、名義未審云、西村玄周云、丁零丁、謂極小也、奚、說文云、大腹也、丁奚、頂與手足極

小、其腹獨大、故以名此證、

〔覆載萬安方〕一第四十一卷

一驚候 此病多、尤可詳記之、 小兒

二急慢驚風 急驚風、慢驚風、

三急驚風 但熱之病也

四慢驚風 積熱之所致也

五天疔 亦云天吊、似邪崇、

六諸疔 目、小兒曰疔、大人曰癩、

〔叢桂亭醫事小言〕五驚風 馬脾風

驚風幾度モ引ツ、イテ發スルヲ慢驚風ト云テ難治トス、其因ハ胎毒ノ塊ト成テ、不時ニ奔騰ス

ルモノニテ、コノ驚風ノ成長スルマデ治セザルニ癩疔トナルアリ、癖ニナル氣味ニテ少シ熱有

ヲモ引付ルアリ、暴熱脈數心下悸真中ニテ、甚シキハ驚風ヲ發ス、故ニ油斷スベカラズ、

〔醫學天正記〕坤小兒

一驚風、毎月五日六日ノ比發、身熱搐搦、小柴胡加芸奴姜入驚熱退、便瀉令漸止、腹脹瘦不飲乳、異

功散四君ニ加貴、姜棗

〔理齋隨筆〕三驚風の藥、浮石一匁を削り、茶碗に水一盃半入て、一盃に煎じ用る妙なりと、鶴殿氏の

話なり、いまだ試されども、手輕き藥なれば、ゑるす、